

個別の指導計画～自立活動～

児童生徒氏名【〇〇 〇〇 〇〇】

記入者【●● ●●● ●●●】

実態把握	自立活動の区分に即して整理 (個別の指導計画～実態と課題<様式1-1>、中心的な課題<様式1-2>～、自立活動実態把握 チェックシート等を行い、担任間での話し合いを含めた情報に基づいて)					
	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	・体温調節が難しく熱がこもりやすい。 ・発汗がない。 ・睡眠リズムが乱れやすい。 ・寝不足や疲労で発熱することがある。	・予期しない音や大きな音や子どもの泣き声が苦手で不快な表情をし、声を出す。 ・初めての活動内容や場所等に不安を示すが、スケジュールや場所の写真カード等で見通しを持つと安定する。	・特定の友だちに関心をもち、自ら近づいて関わろうとする。 ・特定の教師に身体接触を求め、身体をふれあわせる遊びでやりとりするのを楽しむ。	・粘土・ビニールの素材を好み、こねる ・握るように触れる。 ・好みではない感触の素材には関心を向けず、あまり触れようとしない。手や指を口に入れ自己刺激行動が多い。 ・認知面では、○△の弁別ができる。	・座位の保持、四つ這い位、つかまり立ちができる。 ・全身が低緊張気味。つたい歩きはできないが、PCWやSRC-Walkerを使用し一人で歩行ができる。 ・物をつかむ時は手のひら全体でかき集めるようにしてつかむ。 ・スプーンですくって食べる。	・要求する時は要求の内容に関わらず限定されたジェスチャーで大人に伝えるが、要求が通じないと怒りだす。 ・遊びたいおもちゃの写真カードを渡すことができつつある。 ・「あー」「ぱー」の発声がみられる。

いくつかの指導目標の中で優先する目標（長期）



指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助歩行で歩行できる。</li> <li>・手の操作性（引っぱる、押す、つまむ、叩く）を高める。</li> <li>・欲しい物の写真カードを相手を意識して渡して要求する。</li> <li>・発声ができる音を増やす。</li> </ul>
------	---

指導目標を達成するために必要な項目の選定



選定された項目	1健康の保持	2心理的な安定	3人間関係の形成	4環境の把握	5身体の動き	6コミュニケーション
			(1) 他者との関わり の基礎に関する こと		(1) 姿勢と運動・動作 の基本的技能に関する こと (4) 身体の移動能力 に関すること (5) 作業に必要な動作 と円滑な遂行に関する こと。	(1) コミュニケーション の基礎的能力に関する こと (2) 言語の受容と表出 に関すること (4) コミュニケーション 手段の選択と活用に関する こと

選定した項目を関連付け



指導目標（短期）・学習の支援を設定

	指導目標（短期）	学習の支援・主な指導時間	学習の状況・記録・評価
前	・介助歩行（後方、前方）で一定距離を歩く。 (5-①)	・歩行の前に体操（腹筋運動、介助立位での膝・股関節の曲げ伸ばし）介助立位に取り組む。 ・体調や様子に応じて、時間や取組みを調整する。 〔自立活動・からだ・日常生活の指導〕	・介助立位でジャンプをさせると、足の裏で床を蹴り、膝を屈伸させることができる。 ・後方介助で、教室からスロープを歩いて音楽室まで休まずに歩くことができる。

期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を意識して欲しい物の写真カードを渡して要求する。(6-②④)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロンプトをしてカードを渡す取組みをする。</li> <li>・好きなおもちゃの写真カードを用意する。〔日常生活の指導〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児専用のブックを置いておくと、ブックを取り、たくさんの選択肢から自分のやりたいおもちゃを選んで、プロンプトをしながら近くにいる大人にカードを渡して要求できる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手指の操作性（引っぱる、つまむ、押す、叩く等）を高める。(5-⑤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな操作ができる教材を用意する。〔からだ・ふれる・音楽・日常生活の指導〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひもを引っぱり、両手でたぐることができる。</li> <li>・太鼓をバチを使って叩くことができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声する音を増やす。(3-①、6-①②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌やリズムをつけた発声活動をする。</li> <li>・本児が興味を持つ教具を用意する。〔音楽、日常生活の指導〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の時間の発声の歌『大きくア』の曲の時に「あ」「い」の発声ができる。</li> <li>・音や声を復唱するおもちゃで遊ぶのが好きで、そのおもちゃに向かって「あー」「いー」等の発声で話しかけて遊ぶ。</li> </ul>
後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助歩行で体重をしっかりとせて歩行でき、介助量を軽減しても足を前に出して歩行できる。(5-①④)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行の前に体操（腹筋運動、介助立位での膝・股関節の曲げ伸ばし、バランスボールでの座位）介助立位に取り組む。</li> <li>・歩行中に上体が安定すると介助する力を調整していく。〔自立活動・からだ・日常生活の指導〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座位でバランスボールに乗り、バランスボールを傾けても座位を保つことができる。</li> <li>・後方介助で、足を前に出して歩行できるようになり、介助する箇所を脇の下から腕の方へ下げて、介助する力も軽減しても、足を前に出して歩行できる。</li> <li>・廊下のバーに手をかけ、つたい歩きが少しできる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手指の操作性（引っぱる、つまむ、押す、叩く、はじく等）を高める。(5-⑤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな操作ができる教材を用意する。〔からだ・ふれる・音楽・日常生活の指導〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2指でビー玉をつかみ、とったビー玉を穴の中に人さし指で押し入れることができる。</li> <li>・弦楽器の弦を指ではじいて音を出すことができる。</li> </ul>
期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を意識して欲しい物の写真カードを渡して要求する。(6-②④)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物と写真カードのマッチングに取り組む。</li> <li>・プロンプトをしてカードを渡す取組みをする。</li> <li>・好きなおもちゃの写真カードを用意する。〔日常生活の指導〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児専用のブックを置いておくと、自分のやりたいおもちゃを選んで、プロンプトなしで、近くにいる大人にカードを渡すことができる。</li> <li>・具体物と写真カードのマッチング（めがね、コップ、歯ブラシ、スプーン等の身近な生活用品）ができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声する音を増やす。(3-①、6-①②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌やリズムをつけた発声活動をする。</li> <li>・本児が興味を持つ教具を用意する。(音楽、日常生活の指導)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の時間の発声の歌『大きくア』の曲の時に「あ」「い」の発声に加え、「え」の発声ができる。</li> <li>・自分の欲しい物のカードを渡すとき「あー」と人に向かって発声できる。</li> </ul>